

活動当日のチェックリスト

活動を始める前に、お子さんにとって危険な場所はないか、確認を行いましょう

- ☐ 階段や段差のあるところには、子どもが落ちないような対策をする。
- ☐ ドアや家具の引き出しなど、指をはさまないような対策をする。
- 下記のものは、子どもの手の届かないところに置く。

 - ①たばこ、ライター、薬、化粧品、洗剤などの日用品
 - ②ハサミ、包丁などの刃物
 - ③裁縫道具、硬貨、ボタン電池、ピアスなどの飲み込む恐れのあるもの
 - ④貴重品、壊れやすいものなどのトラブルの原因になるもの
 - ⑤ビニール袋やラップなど、子どもが口や鼻を覆うと危険なもの
 - ⑥あめ玉、ピーナッツなど(※)、子どもが飲み込んでしまうようなもの
(※トイレトーパーの芯(直径3.9cm)を通るもの)
- ☐ 暖房器具(ストーブ、こたつなど)でやけどをしないような対策をする。
- ☐ 熱いお茶、ポット、鍋、アイロン、炊飯器などは手の届かないところに置く。
(コードを引っ張り落ちてくると危険なので、コードにも気を付ける)
- ☐ 扇風機の羽に子どもの手が触れないようにする。
- ☐ 浴室や洗濯機、バケツなどに水が溜まっている場合は、子どもがその場所にひとりで入れないような対策をする。
- ☐ 子どもがベランダや窓から外に飛び出さないように踏み台となるような物を片付ける。
ひとりで出ないように鍵をかける。
- ☐ 子どもをベビーベッドなどの高いところに寝かせる場合、転落防止のための対策をする。
- ☐ 子どもの寝る場所にぬいぐるみやタオル等、口や鼻をふさぐ危険があるものを置かない。
- ☐ ブラインドの紐は子どもが首を引っかけてしまわないように手が届かない高さでくくる。
- ☐ お預かりする子どもを部屋に置いたまま外に出ない。
- ☐ 机、食器棚などの角やふちの鋭い部分には、できる範囲でカバーをつけるなど、怪我の予防をする。
- ☐ 預かり中はテーブルクロスの使用を控える。
- ☐ ペット(犬、猫など)はゲージ入れる、別室で過ごすなど、トラブルが起きない工夫をする。
- ☐ 部屋の温度、湿度を確認する。

災害用伝言ダイヤル(171)
毎月1日・15日
に無料で体験利用
が出来ます。

詳しくは →

